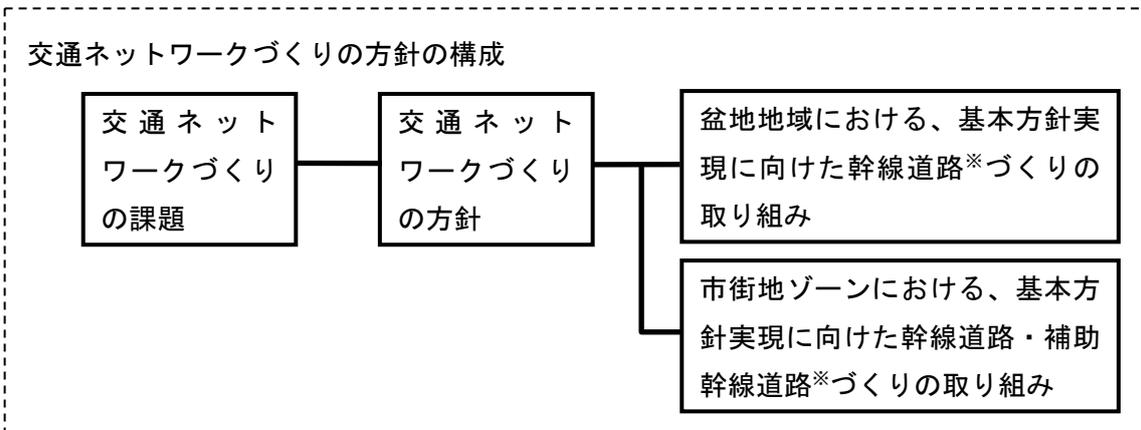


## 4-2. 交通ネットワークづくりの方針



### (1) 交通ネットワークづくりの課題

#### ① 中部縦貫自動車道の整備をまちの活力に繋げる交通ネットワークづくりが必要です

- 中京・関東方面との人や物などの流れを強めるため、中部縦貫自動車道と市内5カ所のインターチェンジ整備の促進が求められます。
- 中部縦貫自動車道の利用者を市街地ゾーンに誘導するため、大野インターチェンジと市街地を直結する(都)大野インター線\*や(都)東縦貫線、(都)中保中野大橋線の整備が求められます。また、一度訪れた人が再び訪れたいと思うような印象を高められる沿道景観づくりが望まれます。

※(都)は都市計画道路の略称であり、都市計画道路であることを示します。

- 中部縦貫自動車道を利用する人が、大野市で足を止めたくなるような景観を重視した道路整備が求められます。

#### ② 市民が暮らしやすい交通ネットワークづくりが必要です

- 大野市と福井市を結ぶ道路整備の促進や、来訪者を迎え入れ、越前おおのを印象づける場所である越前大野駅周辺の環境改善など、鉄道と他の公共交通とのネットワークの充実が望まれます。
- 行政サービス機能や商業サービス機能などが集まる市街地ゾーンと田園ゾーンに点在する集落間の移動を確保するため、道路ネットワークの維持や強化が必要です。また、高齢化などで車の運転が困難な人が増えることを考慮した公共交通などの移動手段の確保が必要です。
- 市街地ゾーンでは、安全・安心に生活できるよう、通過交通や来訪者の通行を促す道路網の形成を進めるほか、増加する高齢者などに優しいバリアフリー\*化などを進める必要があります。
- 未整備都市計画道路は、社会環境の変化などを踏まえた道路の必要性を考慮したうえ

# 全体構想

で見直しが必要です。

## ③観光客が楽しく回れる交通ネットワークづくりが必要です

- 市街地ゾーン内の観光施設をはじめ、その他の観光拠点に観光客を誘導するための道路ネットワークの強化が望まれます。
- 自動車道に加え、市の豊かな自然環境や歴史環境を楽しみながら移動できる交通システムの充実が望まれます。(自動車を止め、自転車に乗り換えて散策できる自転車道の整備、中心市街地エリアでの徒歩での回遊を促す駐車場整備など)
- 観光客が回遊するルート沿いで、市の魅力を高められる道路景観づくりが望まれます。

## (2) 交通ネットワークづくりの方針

将来都市像を実現するため、次の方針に基づき、交通ネットワークづくりを進めていきます。

### ①広域的な連携を強化する道路づくり

- 中部縦貫自動車道、国道 157 号・158 号などの整備を促進することにより、北陸圏、中京圏、関東圏を結ぶ新たな広域的なネットワークの構築を図ります。

### ②田園ゾーンでの暮らしや拠点づくりを支える道路づくり

- 田園ゾーンでの暮らしを支えるため、市街地ゾーンと田園ゾーンを結ぶ交通ネットワークの整備を促進します。

### ③安全で利便性の高い市街地をつくるための道路づくり

- 市街地ゾーン内の道路は、市民が生活に利用する道路、中心市街地エリアなどに市外からの観光客などを誘導する道路、主に通過交通を処理する道路に分類されます。各道路が受け持つ機能を明確にし、道路ごとに求められる機能の強化を目指します。

### ④広域通過交通を処理する道路づくり

- 市街地ゾーンの外側を通っている外環状道路は、市街地に立ち寄らない広域通過交通を処理するとともに、市街地エリアに向かう軸として活用を図ります。

### ⑤生活交通を円滑に処理する道路づくり

- 市街地ゾーン西部の居住環境の向上、生活交通の円滑な処理を主な目的とする新たな南北や東西軸の整備に努めます。

### ⑥中心市街地エリアへのアクセスルートにふさわしい道路づくり

- 大野インターチェンジから中心市街地エリアへのアクセス機能を担う(都)三番線・(都)七間線や東西方面からのアクセス機能を担う(都)六間東中線・西部アクセス道路

は、中心市街地エリアを訪れる人が歴史や文化の豊かさなど大野市の魅力を感じることができるよう、沿道も含め、ふさわしい景観づくりを行います。

## ⑦効果的で効率的な道路づくり

○道路整備については、社会経済情勢などの変化から、効果的で効率的な道路づくりが求められています。現在整備済みの道路の改良を基本とし、新たに整備が必要な道路は、役割や整備効果を十分検討し、整備を行います。

## ⑧都市計画道路の見直し

○長期間未整備の都市計画道路などについては、社会情勢や都市構造の変化に伴う路線の役割の変化や整備効果などを踏まえ、路線の廃止や変更も含め検証し、見直しを行います。

## ⑨中心市街地エリアでの周辺駐車場の確保

- 中心市街地エリア内では車の通行を減らし、住民や観光客が安心して歩けるよう道路環境を整備するとともに、中心市街地エリアの周辺部で駐車場の確保に努めます。
- 自動車を利用して訪れる観光客などには、中心市街地の魅力を存分に楽しんでもらうため、回遊の拠点となる越前おおの結ステーション駐車場へ優先的に誘導を図ります。

## ⑩歩行者空間と自転車空間の充実

- 自転車利用者と歩行者の双方に対して、安全性の確保と快適性の向上を図るため、自転車と歩行者の通行空間を区分するなど、自転車交通ネットワークの形成を進めます。特に中心市街地エリア内では、ゆっくり歩いたり、自転車で移動してもらうため、回遊ルートを明確にし、歩行者や自転車が利用しやすい道路整備を行います。
- 真名川沿いなど大野市の豊かな自然を感じ、市域の散策を楽しんでもらうため、サイクリングロード整備などによる自転車走行空間の充実を進めます。

## ⑪公共交通などの機能強化

- 越前大野駅では、鉄道とバスの乗り継ぎの改善や駅前広場の整備を行い、市民や来訪者の利便性の向上に努めます。
- 障害者や高齢者などの移動制約者が通院や買い物を気軽にできるよう、地域の実情に合った移動手段の確保に努めます。
- 環境に配慮したまちづくりを進めるため、超小型電気自動車※を活用するなど、市民や行政、研究機関が協働して、新しい移動手段の研究に取り組みます。

※道路交通法上は普通自動車免許が必要な自動車

# 全体構想

## (3) 盆地地域における、方針実現に向けた幹線道路づくりの取り組み

以下の幹線道路ネットワークづくりにより、市民や大野市を訪れる人に安全で便利な道路ネットワークをつくります。

### 【幹線道路づくりの取り組み】

※交通ネットワークづくりの方針は、(2)に示す方針を指します。

交通ネットワークづくりの方針※	幹線道路づくりの取り組み	道路の位置付けと構成路線
①広域的な連携を強化する道路づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>高規格幹線道路と、既存の東西方向、南北方向の主要幹線道路※を大野市の骨格道路とします。</li> </ul>	(高規格幹線道路) ○中部縦貫自動車道 (主要幹線道路) ○国道 157 号 ※市街地周辺では(都)東縦貫線(国道 157 号バイパス)。 ○国道 158 号バイパス (幹線道路) ○国道 476 号
②田園ゾーンでの暮らしや拠点づくりを支える道路づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>田園ゾーンに環状型の道路を配置し、集落、各拠点間の交流と連携を強化します。</li> <li>市街地周辺に環状型の道路を配置し、通過交通が市街地に進入しないようにします。</li> </ul>	(幹線道路) ○市域連絡道路  ○北部幹線
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地ゾーンとその周辺の道路網の骨格を構成し、郊外から市街地ゾーンにある主要施設などへのアクセスを容易にします。</li> </ul>	(幹線道路) ○(都)中保中野大橋線 ○(都)六間東中線+西部アクセス道路 ○(都)鍬掛新庄東中線 ○国道 157 号 ※市街地周辺の(都)東縦貫線(国道 157 号バイパス)併走区間。 ○(都)三番線 ※(都)東縦貫線-北部幹線間の区間を除く。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地ゾーンと六呂師高原など自然型観光レクリエーション拠点を連絡するアクセス道路とします。</li> </ul>	(幹線道路) ○(主)大野勝山線 (市街地ゾーン-六呂師高原) ※(主)は主要地方道を指します。 ○(主)松ヶ谷宝慶寺大野線 など (市街地ゾーン-宝慶寺周辺)
⑩歩行者空間と自転車空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>真名川沿いなど大野市の豊かな自然を感じられる場所を中心に、市域の回遊を楽しめ健康増進につながるサイクリングロードを整備します。</li> </ul>	●真名川沿いサイクリングロード

○：整備済、一部整備済、事業中路線      ●：計画・構想路線

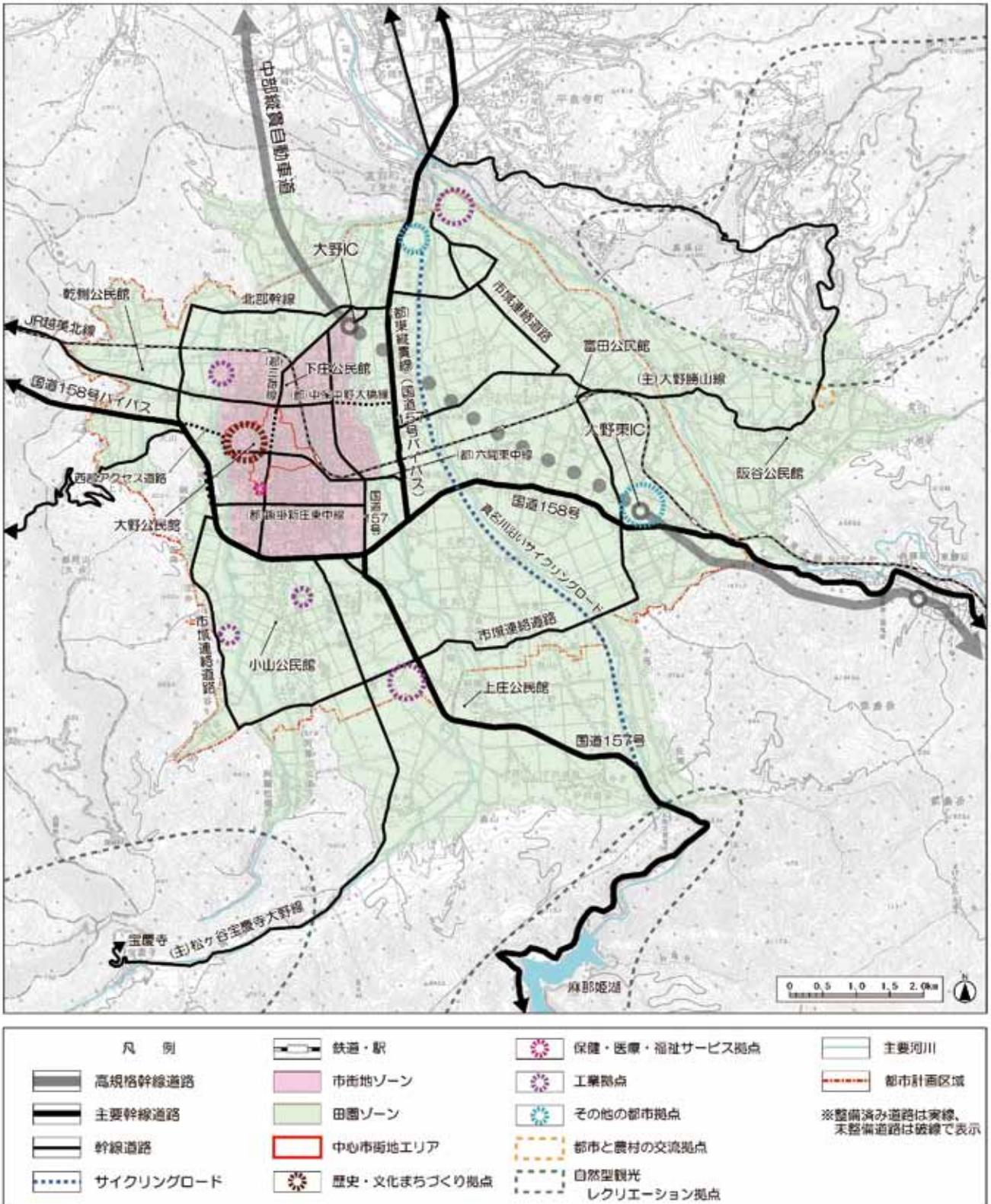


図 盆地地域における、幹線道路づくりの取り組み

# 全体構想

## (4) 市街地ゾーンにおける、幹線道路・補助幹線道路づくりの取り組み

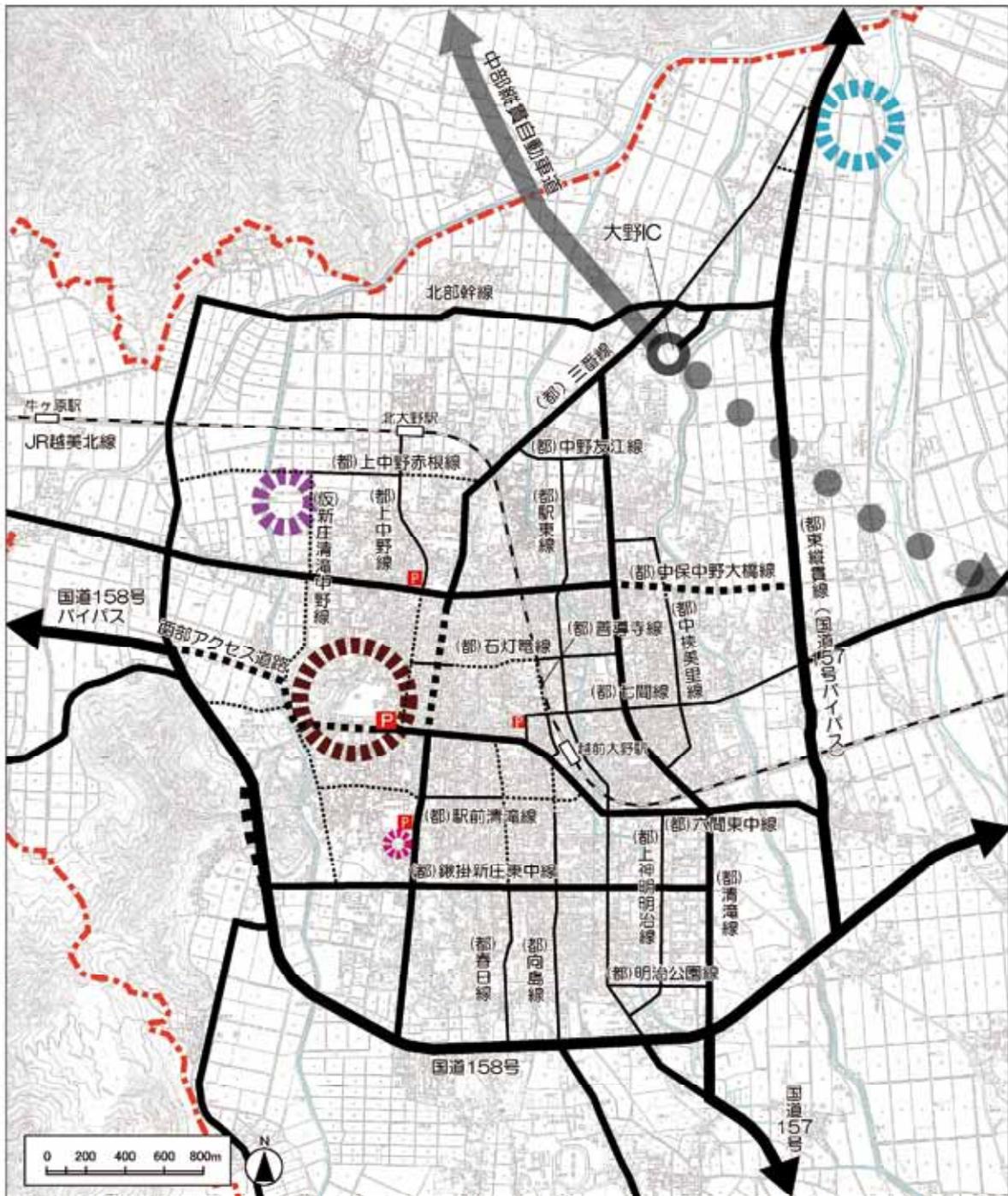
以下の幹線道路・補助幹線道路ネットワークづくりにより、市民や大野市を訪れる人に安全で便利な道路ネットワークをつくります。

### 【幹線道路・補助幹線道路づくりの取り組み】

※交通ネットワークづくりの方針は、(2)に示す方針を指します。

交通ネットワークづくりの方針※	幹線道路・補助幹線道路づくりの取り組み	道路の位置付けと構成路線
①広域的な連携を強化する道路づくり ④広域通過交通を処理する道路づくり	・広域から市街地ゾーンへのアクセス機能を担い、通過交通を円滑に処理する道路とします。	(高規格幹線道路) ○中部縦貫自動車道 (主要幹線道路) ○国道157号 ※市街地部は(都)東縦貫線(国道157号バイパス)。 ○国道158号バイパス (幹線道路) ○北部幹線
③安全で利便性の高い市街地をつくるための道路づくり	・市街地ゾーン内の幹線道路として、市民の生活交通を円滑に処理する道路とします。	(幹線道路) <東西軸> ○(都)中保中野大橋線 ○(都)六間東中線+西部アクセス道路 ○(都)鉾掛新庄東中線 <南北軸> ○国道157号及び(都)清滝線 ※市街地部の(都)東縦貫線(国道157号バイパス)併走区間。 ○(都)三番線
⑤生活交通を円滑に処理する道路づくり ⑧都市計画道路の見直し	・市街地ゾーン内の交通を処理する補助幹線道路網をつくります。 ・長期間未整備の都市計画道路のうち、補助幹線道路については、整備効果などを検証し、見直しを行います。	(補助幹線道路) <東西方向> ○(都)中野友江線 ○(都)上中野赤根線 ○(都)石灯笼線 ○(都)七間線 ○(都)駅前清滝線 ○(都)明治公園線 <南北方向> ●(仮)新庄清滝中野線 ※(仮)は仮称名の道路を指します。 (都)上中野赤根線以南から(都)鉾掛新庄東中線以北の区間。 ○(都)上中野線+(都)六間東中線 ○(都)春日線 ○(都)向島線+善導寺線 ○(都)駅東線 ○(都)上神明明治線 ○(都)中挟美里線

○：整備済、一部整備済、事業中路線      ●：計画・構想路線



凡例	補助幹線道路	工業拠点	都市計画区域
高規格幹線道路	中心市街地エリア駐車場	その他の都市拠点	※整備済み・事業中の道路は実線、未整備道路は破線で表示
主要幹線道路	歴史・文化まちづくり拠点	鉄道・駅	主要河川
幹線道路	保健・医療・福祉サービス拠点		

図 市街地ゾーンにおける、幹線道路・補助幹線道路づくりの取り組み 1

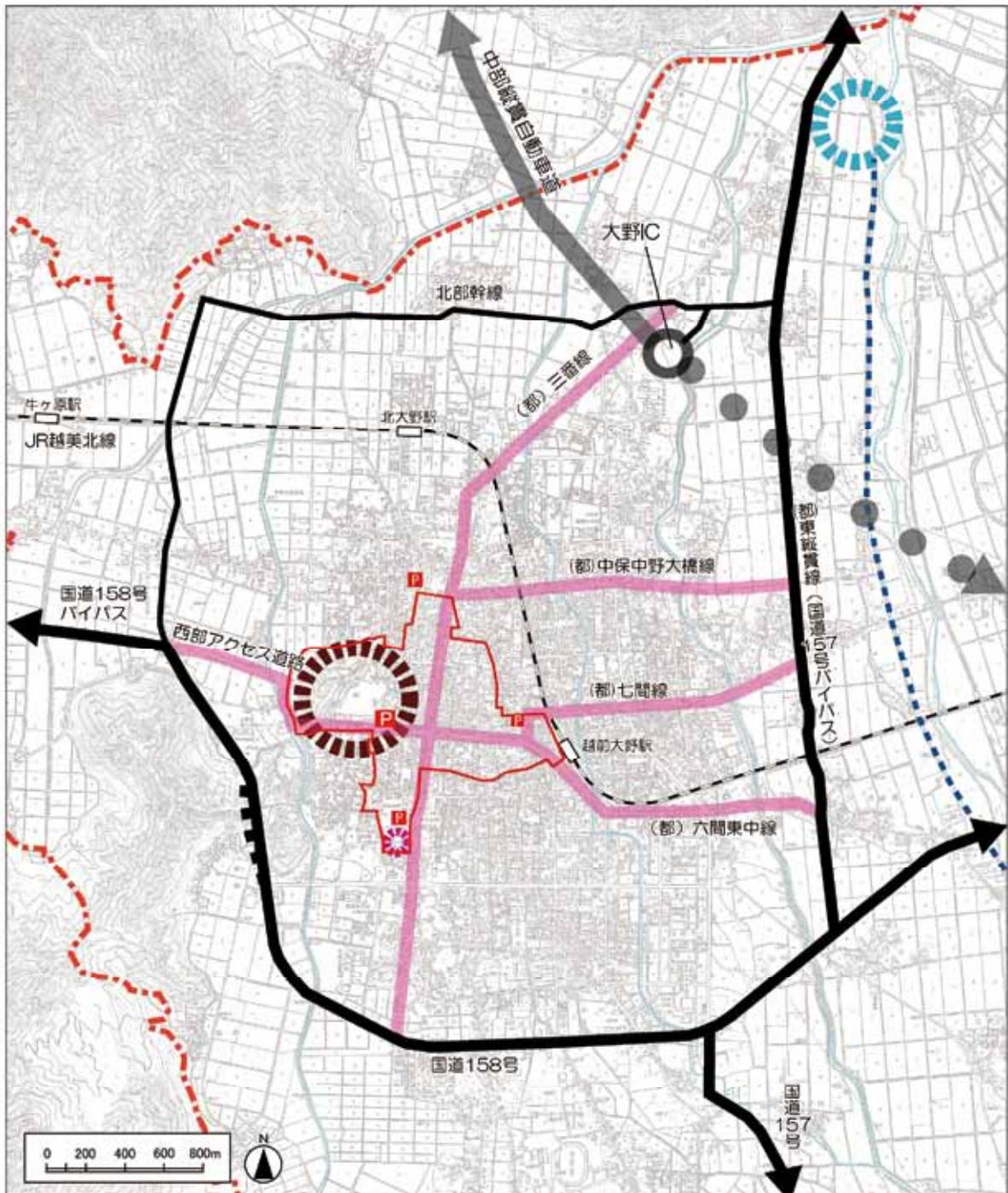
# 全体構想

## 【幹線道路・補助幹線道路づくりの取り組み】

※交通ネットワークづくりの方針は、(2)に示す方針を指します。

交通ネットワークづくりの方針※	幹線道路・補助幹線道路づくりの取り組み	道路の位置付けと構成路線
⑥ 中心市街地エリアへのアクセスルートにふさわしい道路づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街地ゾーンを訪れる人のイメージを高め、期待感を抱かせる景観づくりを重視した道路を配置します。</li> <li>インターチェンジから市街地ゾーンへの交通は、分散導入させることで、混雑の低減を図ります。</li> </ul>	<p>&lt;市域北・東側からのアクセス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○(都)三番線</li> <li>○(都)中保中野大橋線</li> <li>○(都)七間線</li> <li>○(都)六間東中線</li> </ul> <p>※六間東中線は市域東側からのアクセスに加え、越前大野駅からのアクセスを担う。</p> <p>&lt;市域西側からのアクセス&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○西部アクセス道路</li> </ul>
⑨ 中心市街地エリアでの周辺駐車場の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地エリアを快適に歩けるよう、エリア周辺部で駐車場の確保に努めます。</li> <li>来訪者に中心市街地エリアの魅力を存分に楽しんでもらうため、回遊の拠点となる越前おおの結ステーション駐車場へと優先的に誘導します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史・文化まちづくり拠点（越前おおの結ステーション周辺）</li> <li>○大和町市有地</li> <li>○市役所など</li> </ul>
⑩ 歩行者空間、自転車空間の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>寺町や御清水など観光拠点を結ぶ散策ルートを配置します。</li> <li>中心市街地エリア内では、観光客などが利用する歩道の整備、プランターの設置など、楽しく歩ける空間の充実に努めます。</li> <li>市街地ゾーン周辺のサイクリングルートと中心市街地エリアを結ぶ道路については、中心市街地に気軽に立ち寄れるよう安全面に配慮しつつ自転車空間の充実に努めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○散策ルート（中心市街地エリア）</li> <li>○(都)七間線</li> <li>○(都)六間東中線など</li> </ul>
⑪ 公共交通などの機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場などを整備し、越前大野駅を中心とした公共交通機能の強化を図ります。</li> <li>市民の暮らしの豊かさや観光客の利便性を高めるため、公共交通などの移動手段の確保に努めます。</li> </ul>	—

○：整備済、一部整備済、事業中路線      ●：計画・構想路線



凡 例			
	アクセスルートにふさわしい道路づくり		自転車空間の充実(サイクリングロード)
	歩行空間の充実(中心市街地エリア)		歴史・文化まちづくり拠点
	中心市街地エリア駐車場		保健・医療・福祉サービス拠点
	工業拠点		その他の都市拠点
	主要幹線道路		高規格幹線道路
	幹線道路		鉄道・駅
	主要河川		都市計画区域
※整備済み道路は実線、未整備道路は破線で表示			

図 市街地ゾーンにおける、幹線道路・補助幹線道路づくりの取り組み2